



林野庁 北海道森林管理局 根釧東部森林管理署

チュプカの森から

※ チュプカ (cup-ka) とは、アイヌ語で「日の出る方角」「東」という意味です。

知床世界自然遺産エゾシカ・ヒグマWG

知床世界自然遺産の関係行政機関では、科学的知見に基づき世界遺産認定の趣旨を踏まえた適切な管理を行うため、科学委員会の下に設けられたいくつかのワーキンググループ (WG) において、有識者委員から助言をいただいています。

その一つであるエゾシカ・ヒグマWGが7/1～2に釧路にて開催され、知床におけるエゾシカの適正頭数管理やヒグマとの軋轢防止の取組等について議論が行われました。林野庁からも、北海道森林管理局、知床森林生態系保全センター、網走南部森林管理署、根釧東部森林管理署が参加しています。



環境省の釧路自然環境事務所長によるご挨拶



座長による進行



知床森林生態系保全センターからの取組状況の報告



説明する当署職員 (中央)



丘の上にある開陽台展望台 (別の日に撮影)



開陽台からは根釧台地が一望できます (別の日に撮影)

北の森づくり専門学院への協力

北海道では、道内の林業を担う人材育成のために「北海道立北の森づくり専門学院」(通称「北森カレッジ」)を開校しており、これに対して国有林でも、講師の派遣やフィールドの提供などで協力しています。

6月末から7月初めにかけて、十勝及び根釧地域で地域見学実習が行われ、根釧東部森林管理署でも、7/2に中標津町内の開陽台にて、約40人の学生達に、根釧台地に広がる格子状防風林について説明しました。

森林生態系多様性基礎調査

林野庁では、国土全体の森林の状態とその変化動向を把握するため、全国の森林(民有林・国有林)を対象に、4km間隔の格子点上に調査プロットを設定し(約1万5千点!)、民間調査機関に委託して、5年一期の定点調査を行っています。この調査は平成11年度より行われており、現在、5期目に入っています。

根釧東部署管内の国有林にも調査プロットが設定されていることから、7月中旬、当署からもこの民間調査機関による調査に同行しました。



民間調査機関の方々が、樹木の幹の直径と、樹高を測っています



林床にどのような植物種が生えているかを調べています

〒086-1652 北海道標津郡標津町南2条西2丁目1番16号

TEL 0153-82-2202 (代表) FAX 0153-82-2284

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou_syo/konsentoubu/index.html

